

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年2月9日

上場会社名 スターゼン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8043 URL <https://www.starzen.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 和彦
 問合せ先責任者(役職名) 財務経理本部長 (氏名) 森上 倫輔 (TEL) 03-3471-5521
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	328,618	12.8	7,123	12.5	8,850	10.2	6,267	11.8
2022年3月期第3四半期	291,276	7.7	6,333	5.6	8,029	3.3	5,607	△6.9

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 6,156百万円(13.7%) 2022年3月期第3四半期 5,414百万円(△15.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	321.72	—
2022年3月期第3四半期	288.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	164,672	68,940	42.0
2022年3月期	142,428	64,001	45.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 69,128百万円 2022年3月期 64,179百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	65.00	65.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	390,000	2.2	6,800	△1.5	8,400	△8.4	5,700	△4.8
								292.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期3Q	19,522,552株	2022年3月期	19,522,552株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	23,516株	2022年3月期	47,161株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期3Q	19,483,058株	2022年3月期3Q	19,467,857株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、ウィズコロナの下で、景気に緩やかながら持ち直しの動きが見られました。しかしながら、世界的な金融引締め等による海外景気の下振れが我が国の景気を下押しする可能性があり、また物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動、中国における感染動向による影響も予想され、先行きについては不透明な状況が続いております。

食肉業界は、食肉消費が落ち着きを見せ始めるとともに食肉輸入価格や飼料価格、エネルギーコストが高騰しつづけるなど、厳しい環境が継続しております。

このような状況の中、当社グループはコロナ禍においても品質管理ならびに衛生管理を徹底するとともに柔軟な勤務体制等の対策を講じ、社員の安全確保に配慮しつつお客様のご要望にお応えしてまいりました。

また、『「収益力強化」に向けた「体質改善」』のテーマのもと、さらなる成長を遂げるための施策に取り組んでまいりました。新たな取り組みとしては、株式会社大商金山牧場と資本業務提携契約を締結いたしました。本資本業務提携をきっかけに互いの商品をそれぞれのネットワークを通じて販売することや、商品の共同提案、将来的には両社の拠点・機能・人的資源の共同活用による事業効率化等を図り、ひいては両社の企業価値向上を目指します。加えて、日本屈指の輸出認定工場である(株)阿久根食肉流通センター及びスターゼンミートプロセッサー(株)阿久根工場ビーフセンターの拡張工事が完了し、今後、牛肉の輸出を拡大してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は328,618百万円（前年同四半期比12.8%増）、営業利益は7,123百万円（前年同四半期比12.5%増）、経常利益は8,850百万円（前年同四半期比10.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,267百万円（前年同四半期比11.8%増）となりました。

事業部門別の営業概況は、次のとおりです。

<食肉関連事業>

食肉関連事業の売上高は326,477百万円（前年同四半期比12.9%増）となりました。

また、部門別の業績は次のとおりです。

(食肉)

国内事業は、国産食肉の販売が堅調に推移したことから取扱量は前年同四半期を上回りました。売上高は、取扱量の増加に加え輸入食肉の国内相場高値推移等により前年同四半期を大きく上回りました。売上総利益は、国産牛肉を中心に利益確保が進み前年同四半期を上回りました。

また、カテゴリー別の業績は次のとおりです。

国産食肉は、各畜種ともに販売が堅調に推移し、取扱量、売上高ともに前年同四半期を上回りました。売上総利益は行動制限の緩和による観光地・行楽地での外食需要の回復等により、相対的に利益率の高い国産牛肉で特に取扱量が増加したこと、国産牛肉相場が前年同四半期を下回る水準で推移したこと、加えて販売機会ロスの削減や早期販売を意識した在庫コントロールが功を奏したことなどから前年同四半期を大きく上回りました。

輸入食肉は、牛・豚肉で取扱量を確保したものの、輸入価格高騰等の影響により鶏肉の取扱量が減少したことから、全体の取扱量は前年同四半期を下回りました。売上高は、国内相場が高値推移したことから前年同四半期を大きく上回りました。売上総利益は、鶏肉で取扱量の減少に伴い利益も減少したものの、需要に合わせた調達徹底やコスト上昇分を可能な限り販売価格へ転嫁したことなどから牛・豚肉で利益を確保でき、全体では前年同四半期を上回りました。

輸出事業は、米国向け牛肉輸出が低関税輸入枠超過による関税引き上げの影響で低迷したものの、欧州や台湾、東南アジア向けを中心に好調に推移したことから、輸出重量は前年同四半期比横ばいとなりました。売上高は輸出単価の高い欧州向けが好調だったことなどから前年同四半期を上回りました。

これらの結果、食肉部門の売上高は257,824百万円（前年同四半期比12.2%増）となり、売上総利益は前年同四半期を上回りました。

(加工食品)

加工食品は、一部取引先向けのハンバーグ商品群で取扱量が減少しましたが、食肉スライス商品、ローストビーフ関連商品等の販売が堅調に推移し、全体では取扱量、売上総利益ともに前年同四半期を上回りました。売上高は、原材料コストやエネルギーコストの上昇を踏まえた商品価格改定等により57,548百万円（前年同四半期比17.2%増）と前年同四半期を大きく上回りました。

(ハム・ソーセージ)

ハム・ソーセージは、外食向け商品の販売が回復傾向で推移しましたが、小売業態向けの販売が落ち着きを見せ、取扱量は前年同四半期を下回りました。売上高は加工食品と同様に商品価格改定により9,555百万円（前年同四半期比7.0%増）と前年同四半期を上回り、売上総利益も販売条件の変更等により前年同四半期を上回りました。

(その他)

その他の取扱品につきましては、売上高は1,549百万円（前年同四半期比3.5%増）となりました。

<その他の事業>

その他の事業につきましては、売上高は2,140百万円（前年同四半期比4.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べて、20,791百万円増加し、114,363百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金、商品及び製品、前渡金が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて、1,459百万円増加し、50,289百万円となりました。これは、主として投資有価証券が増加したことによるものであります。

この結果、総資産では、前連結会計年度末に比べて、22,244百万円増加し、164,672百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べて、11,854百万円増加し、66,974百万円となりました。これは、主として短期借入金が増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて、5,450百万円増加し、28,757百万円となりました。これは、主として長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計では、前連結会計年度末に比べて、17,305百万円増加し、95,731百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて、4,938百万円増加し、68,940百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日付け公表の「2022年3月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,172	13,066
受取手形及び売掛金	31,533	40,598
商品及び製品	32,115	36,866
仕掛品	437	448
原材料及び貯蔵品	2,294	2,302
前渡金	12,218	16,793
その他	3,811	4,301
貸倒引当金	△10	△14
流動資産合計	93,572	114,363
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,896	12,734
土地	10,531	10,531
その他（純額）	5,417	5,251
有形固定資産合計	28,845	28,516
無形固定資産		
その他	1,952	2,600
無形固定資産合計	1,952	2,600
投資その他の資産		
投資有価証券	15,940	17,401
その他	2,091	1,771
投資その他の資産合計	18,032	19,172
固定資産合計	48,829	50,289
繰延資産	25	18
資産合計	142,428	164,672

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,953	20,188
短期借入金	10,847	21,964
1年内償還予定の社債	2,100	-
1年内返済予定の長期借入金	9,589	9,086
未払法人税等	1,825	964
賞与引当金	1,652	797
その他	12,151	13,972
流動負債合計	55,119	66,974
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	13,643	19,124
退職給付に係る負債	2,051	2,066
債務保証損失引当金	190	281
その他	2,421	2,284
固定負債合計	23,306	28,757
負債合計	78,426	95,731
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,658	11,658
資本剰余金	12,508	12,504
利益剰余金	38,101	43,103
自己株式	△105	△52
株主資本合計	62,163	67,213
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,741	1,974
繰延ヘッジ損益	441	△230
為替換算調整勘定	△145	177
退職給付に係る調整累計額	△20	△6
その他の包括利益累計額合計	2,016	1,914
非支配株主持分	△177	△187
純資産合計	64,001	68,940
負債純資産合計	142,428	164,672

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	291,276	328,618
売上原価	263,463	298,745
売上総利益	27,812	29,872
販売費及び一般管理費	21,479	22,749
営業利益	6,333	7,123
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	110	479
持分法による投資利益	757	873
不動産賃貸料	238	178
受取保険金及び配当金	406	408
補助金収入	278	299
その他	309	341
営業外収益合計	2,103	2,583
営業外費用		
支払利息	195	491
不動産賃貸費用	104	91
その他	107	272
営業外費用合計	406	855
経常利益	8,029	8,850
特別利益		
固定資産売却益	13	0
投資有価証券売却益	41	2
特別利益合計	54	3
特別損失		
固定資産売却損	1	-
固定資産除却損	38	16
減損損失	12	17
特別損失合計	51	33
税金等調整前四半期純利益	8,032	8,820
法人税、住民税及び事業税	1,939	2,253
法人税等調整額	486	308
法人税等合計	2,425	2,561
四半期純利益	5,606	6,258
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△9
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,607	6,267

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	5,606	6,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△179	231
繰延ヘッジ損益	△72	△670
為替換算調整勘定	46	249
退職給付に係る調整額	10	8
持分法適用会社に対する持分相当額	4	78
その他の包括利益合計	△191	△101
四半期包括利益	5,414	6,156
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,415	6,166
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

当社グループは、生産肥育から食肉の処理加工、製造、販売に至るまでの事業を主に国内で行う「食肉関連事業」を中心に事業活動を展開しており、報告セグメントは「食肉関連事業」のみであるため、セグメント情報の記載を省略しております。